

授業科目名(英文名)bbb / Course title	研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 / Communication for Researchers				
担当教員(所属) / Instructor	堀 悦郎(医学部),山崎 けい子(人文学部),八塚 美樹(医学部看護学科),袴田 優子(医学部医学科), 内田 和美(芸術文化学部),尾山 真(地域連携推進機構)				
授業科目区分 / Category	大学院共通科目				
地域課題解決型人材育成プログラム 科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2022年度 / Academic Year 第2ターム / Term 2 他	対象所属 / Eligible Faculty			
時間割コード / Registration Code	950030	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年	単位数 / Credits	1単位
ナンバリングコード / Numbering Code	2X1-41005-0100				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	堀 悦郎(hori@med.u-toyama.ac.jp) 山崎 けい子(人文棟314研究室 yamaco@hmt.u-toyama.ac.jp 076-445-6197) 八塚 美樹(八塚美樹:ymiki@med.u-toyama.ac.jp) 尾山 真(地域連携戦略室(五福キャンパス, AZAMI(カフェ)2階) 電話番号: 076-445-6177 電子メール: serecos@ctg.u-toyama.ac.jp)				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	堀 悦郎(大学のドメインを使ったメールアドレスでアポイントを取ってください。) 山崎 けい子(水曜日12:10~12:40 できれば、事前に連絡してから来てください。 その方が確実にお会いできます。) 八塚 美樹(八塚美樹:連絡先にアポをとってから研究室にきてください。) 尾山 真(地域連携戦略室は3名の教員がいますので、いずれかが在席するよう にしていますが、不在の場合がありますので、事前にMoodleかTELもしくは メールで連絡の上で訪問してください。)				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL					
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日 2021/12/28				
この科目は、オンデマンド形式(各自で授業動画等を閲覧し受講)により授業を実施します。 なお、一部の授業については、対面で実施します。対面授業実施日については、追ってお知らせします。					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
コミュニケーション能力は、学士力の一つであり、本学のディプロマ・ポリシーにも、「他者の考えを理解し、自らも情報発信する能力を身に付けている。また、適切な手段や言語を使い、多様な人々との意思疎通と協働を可能にする能力を身に付けている」と掲げられている。学士課程で獲得しているはずのこの能力を大学院課程でも駆使できるよう、入学直後の共通科目として基盤的な確認をする。またコミュニケーションの内容と構造の分析方法も学び、各教育部・研究科における研究方法論の一助にする。さらに自身の学位論文を円滑に作成できるよう、研究・論文作成に必要なコミュニケーション技術獲得方法について教授する。					
達成目標 / Course Goals					

<p>1. コミュニケーションの概念・内容・成立要件を概観的に理解できる</p> <p>2. 他者とのコミュニケーション、モノ・コトとのコミュニケーションについて、その分析方法とともに構造的に理解できる</p> <p>3. 自身のコミュニケーションを理解し、自律的キャリア形成に向けて、自己とコミュニケーションできる</p> <p>4. 研究を進め、論文作成までに不可欠な、研究指導者との良好なコミュニケーションに向けた取り組みができる</p>	
<p>授業計画（授業の形式、スケジュール等）/Class schedule</p>	
<p>第1回 コミュニケーションとは：日本語の会話の構造と分析(人文科学系 山崎けい子教授) 対面授業により実施</p> <p>第2回 コミュニケーションの内容・成立要件（看護学系 堀悦郎教授）</p> <p>第3回 病的コミュニケーション(看護学系 堀悦郎教授)</p> <p>第4回 医療的コミュニケーション(医学系 袴田優子教授)</p> <p>第5回 共感的コミュニケーション(看護学系 八塚美樹教授)</p> <p>第6回 トランスポート・コミュニケーション論： ヒト・モノ・コトとのコミュニケーション（芸術文化学系 内田和美教授）</p> <p>第7回 自律的キャリア形成とコミュニケーション： 自身とのコミュニケーション（地域連携推進機構地域戦略室 尾山真特命准教授）</p> <p>第8回 研究・論文作成に必要なコミュニケーション技術： 研究指導者とのコミュニケーション(地域連携推進機構地域戦略室 尾山真特命准教授)</p>	
<p>授業時間外学修（事前・事後学修）/Independent Study Outside of Class</p>	
<p>【事前学修】</p> <p>コミュニケーションという言葉が、様々な分野で、様々な意味で用いられていることを確認してください。次に自身の専門分野に関連する書籍、特に関心を持つ分野の書籍で、「 (的)コミュニケーション」という言葉がタイトルに含まれているものを2～3冊読んでみてください。（30時間以上）</p> <p>【事後学修】</p> <p>日常生活あるいは研究活動の中で、他者とコミュニケーション、モノとのコミュニケーション、研究指導者(教員だけでなく、院生の先輩・同期生)とのコミュニケーションを意識的にとってみて、良好にしていくための方法について考えをまとめてください。また他者との共有もしてみてください。（30時間以上）</p>	
<p>キーワード / Keywords</p>	<p>コミュニケーション、会話の構造、会話の分析、脳科学、病理、共感、トランスポート・コミュニケーション、カーデザイン・コミュニケーション、自律的キャリア形成、自己分析、コミュニケーションスタイル、内省、傾聴、ノンバーバルコミュニケーション、報告連絡相談、問いかげ力、コンフリクトの解消、実務経験教員科目</p>
<p>履修上の注意 / Notices</p>	<p>A4サイズのレポート提出用シートにその日に受けた授業の要約と、感想を記述し、毎回提出する。</p>
<p>教科書 / Required Text</p>	
<p>参考書 / Required Materials</p>	
<p>教科書・参考書に関するその他通信欄</p>	<p>各担当教員が授業ごとの内容に関連する資料をまとめたプリントを配布する。</p>
<p>成績評価の方法 / Evaluation</p>	<p>成績評価方法は、毎回提出するレポートにより行う。 それぞれの専門分野におけるコミュニケーションの捉え方や、良好なコミュニケーション技術等について思考し、その理解度を測る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は、各担当教員により、授業毎に100点満点で評価する。 ・最終的な成績評価は「レポートの評価点」を総合して換算する。 ・レポート（100%）
<p>関連科目 / Related course</p>	
<p>リンク先URL / URL of syllabus or other information</p>	
<p>備考 / Notes</p>	